そして歩む

詩曲　鈴木こうせい

♩=74

そらに　みえるー　ランジー　すぎてー　あおー　あまた　いそらー　まーてー　あきがー　しろいし　はなしろ　ここの　くもがー　したりー　のなかー　ながれ　テレビー　はいり　ていくー　をみるー　こんでー　しずかう　うたん　あゆん

にはだ　こむみ　のかちへ　やのり　わみふ　たりしよか　がうえ　いすら　まきせで　すする　すけこ　これれしま

でもで　リみそ　ハんう　ビなま　リがと　あおこ　るなれけか　るにら　よでゆ　うきっ　になく　といり　きょそあ　うれゆ　はむ

もそみ　ってれち　とでは　げわみ　んたえ　きしる　にもよ　ややま　っらえ　てない　みとを　たきみ　いも　ひとと　ろき　いは　め

あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ

あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ　あ

そして歩く

詩曲　鈴木こうせい

一

空に見える青い空
白い雲が流れていく
静かにこの部屋
わたしがいます
少しでもリハビリ
歩けるように
今日は元気に
やっぱりと
てみたい

二

広い話
ラウンジ集まって
したりテレビを見る
歌うは昔の
民謡好きです
けどもみんな
同じにでなが
それでいい
やられきなで
なはいそれ私
いて時も
も

三

時は過ぎてまた秋が
心の中入り込んで
歩んだ道のり
振り返るる
ここれまで走馬灯
これからゆっくり
歩道は見える
前を見つめ

あ　あ
ー　ー
ー　ー
ー　ー

あ　あ
ー　ー
ー　ー
ー　ー